□　第８回仙台国際音楽コンクール

工　藤　一　郎

2001年から３年毎に開催されている「仙台国際音楽コンクール（SIMC）」が８回目を迎え，５月21日～６月５日のヴァイオリン（以下Vn）部門，６月11日～６月26日のピアノ（以下Pf）部門の順に，日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）で行われた。協奏曲のコンクールとして存在感を築き，2011年の東日本大震災でも中断しなかったSIMCだが，第８回開催を前にして新たな試練に見舞われることとなった。

2020年からのコロナ禍もさる事ながら，この年世界共通の難題となったのがウクライナ侵攻問題。そこから派生したロシア人やロシア音楽を排除する動きに対し，SIMCは「音楽に国境はない」の精神を貫徹して門戸を開放した。これには出場者，審査委員を始め各方面から熱い賛意が示され，出場申込者数は過去最多の両部門計573名となった。内，予備審査を経た出場予定者計76名は，ウクライナ国籍者などの出場辞退によって最終的には計68名となったが，致し方ない。他に３月に発生した福島県沖を震源とする地震や開幕直前に届いた野島稔運営委員長の訃報などの試練をも乗り越え，開催に漕ぎつけた関係者の努力には頭が下がる。運営委員長は急遽植田克己・運営副委員長が務め，両部門の最終結果発表の前には黙禱が行われた。

Vn部門の審査委員は委員長：堀米ゆず子，副委員長：堀正文＆ボリス・ベルキンら総勢12名。各ラウンド11名で審査にあたった。出場者は11の国と地域から37名。予選（課題①と②がある）の①バッハ「協奏曲」には指揮者なしの室内オーケストラ（仙台フィルと山響）が共演した。セミファイナルからは広上淳一＝仙台フィルとの共演となり，課題協奏曲に加えてコンサートマスター（以下コンマス）役が課せられた（R.シュトラウス「交響詩〈英雄の生涯〉」の指定箇所）。ファイナル（課題協奏曲①と②からそれぞれ１曲を選択）は６名で競われた。

審査結果は第１位：中野りな（17歳／日本），第２位（同位２名）：デニス・ガサノフ（27歳／ロシア）＆マー・ティェンヨウ（21歳／中国），第４位：ホン・ソンラン（21歳／韓国），第５位：橘和美優（21歳／日本），第６位：中村友希乃（26歳／日本）。第１位の中野りなはファイナルのバルトーク「協奏曲第２番」で抜群の完成度を示した。Vn部門で日本人が優勝したのは第２回の松山冴花以来。

Pf部門の審査委員は委員長：野平一郎，副委員長：海老彰子＆ジャック・ルヴィエら総勢12名。各ラウンド11名で審査にあたった。出場者は12の国と地域から31名。予選は35分以上40分以内のプログラムを構成して独奏。セミファイナル（モーツァルトとベートーヴェンの課題協奏曲からそれぞれ１曲を選択）からは高関健＝仙台フィルとの共演となり，ファイナル（課題協奏曲①と②からそれぞれ１曲を選択〕は６名で競われた。

審査結果は第１位:ルゥォ･ジャチン（22歳／中国），第２位:ヨナス・アウミラー（23歳／ドイツ），第３位：太田糸音（22歳／日本），第４位：ジョンファン・キム（21歳／ドイツ），第５位：キム・ソンヒョン（19歳／韓国），第６位：ジョージ・ハリオノ（21歳／イギリス）。第１位のルゥォ・ジャチンはファイナルのプロコフィエフ「協奏曲第２番」で，持てる能力のすべてを高度に均衡させた圧巻の演奏を聴かせた。

Vn部門に共演した広上＝仙台フィルには植田運営副委員長から，またPf部門に共演した高関＝仙台フィルには野平審査委員長から称賛と謝意が表された。それらが外交辞令でない事は，Vn部門ファイナルが終わってオケが退場する際，審査委員席からスタンディングオベーションが起こった事でも分かる。

感慨深かったのは，審査委員の中に第２回Vn部門の入賞者＝有希 マヌエラ･ヤンケと，第１回Pf部門の覇者＝ジュゼッペ･アンダローロが含まれていた事（このような例は第５回に始まる）。また，今回のVn部門の「同位２名」には，第１回同部門の第１位（スヴェトゥリン・ルセフ＆ホアン・モンラ）と，第４回Pf部門の第３位（マリアンナ・ブルジェヴァルスカヤ＆佐藤彦大）の例がある。これらは順位調整のない，票数のみによる結果である事の表れ。審査の公正さを印象づけている。

前回からVn部門に設けられている〝コンマス課題〟は，SIMC入賞者や出場者から実際にコンマスになっている例が少なくない事を見ても，大きな意義があると言える。

邦人作品が課題曲になったのは今回の矢代秋雄「ピアノ協奏曲」（ファイナル課題曲②に含まれた）が初めて。それを申込書に記載した１名が出場に至らなかったため演奏されなかったが，この名曲は今後もエントリーが続けられるべきだ。

コロナ禍で延期されていた前回の最高位入賞者リサイタルがこの年実現した。定評ある市民のホスピタリティが発揮される場も，次回までには回復するよう祈りたい。